



野津保

札幌市立上野幌中学校
学校だより第10号
令和8年1月16日

飛躍の3学期～1年のまとめ、そして次なるステージへの準備～

新年あけましておめでとうございます。令和7年度を締めくくる3学期が始まりました。始業式で見た生徒たちの表情には、冬休みの充実感と、「さあ、やるぞ」という心地よい緊張感が漂っていました。顔を上げて真剣に耳を傾けるその姿は、1つ上の学年へ向かおうとする自覚と頼もしさが感じられました。

校長先生からは、目標を明確に定めるとともに、この1年を締めくくる学期として主体的に活動してほしいというお話がありました。以下に、校長先生と各学年代表の言葉を掲載します。

◆◆3学期始業式の言葉◆◆

校長 太田 尚代

今日から令和7年度の締めくくりである3学期です。この3学期は、本当に短いです。3年生は2か月しかありません。2か月後は卒業式です。1・2年生は2か月と約1週間です。皆さんにとって、とっても大事な3学期です。4月からの令和8年度をより良い年にするための準備期間です。先生方も同じです。1・2年生の皆さんは、4月には進級します。1学期と2学期に学んだことや経験したこと、そこから反省したことをもとに、どんな自分になりたいかを考え、そのためになにが必要なのか、どうすればいいかを考えてこの3学期に実践してください。そして、4月からの新たな1年に備えてください。受検本番を控えている3年生にとっては、今、準備の真っ最中だと思います。受験本番で力をしっかり発揮できるために、どのように準備したのかが大切です。そして、一人で頑張っているわけではないということを忘れないでください。そばにいるご家族も、先生方も心の底から皆さんを応援していますし、支えてくれます。友達の実存も大きいですね。互いに良い刺激を与えあい、ともに高め合ってほしいと思います。ぜひ、悔いの残らない3学期にしてください。そして、2か月後の卒業式には、1・2年生が、こんな3年生になりたいと思えるような、立派な姿を見せてあげてください。

さて、今年度、先生方は「生徒の皆さんの主体性を伸ばす」ことを目指して様々な取組をしました。先生方の役割は、全員で皆さんを見守り、支えることです。もちろん、人として許せないことがあれば、注意したり、怒ることもあります。また、集団生活をするうえで、守らなければならないことについては、先生が中心となって皆さんに守ってもらいます。でも、皆さんが生活していく中で、うまくいかないから変えたいことがあったり、よりよい学校生活のために考えた意見であれば、先生方がそれを尊重していけるような学校にしたいのです。この3学期、皆さんに改めて意識してほしいことがあります。それは「主体的に行動する」ということです。よりよい生活のために、自分には何ができるのかを考えて行動する。自分から課題を見付けて行動する姿勢を大切にしてください。それが小さな一歩であっても、自分から動くことで見える景色が変わり、新しい発見や成長が必ずあります。失敗を恐れず、自分の意志で行動を起こすこと。その積み重ねこそが、4月からの皆さんをつくります。特に3年生は、4月から新しい環境での生活が待っています。自分の学校生活は、先生や友達任せにするのではなく、自分で創り上げていくんだという意識をもって、毎日を大切に過ごしてください。2学期の終業式に、馬は活発で、勇気があり、行動力があることの象徴とされている。だから立ち止まらず、勇気をもって行動できる年にしてほしいという話をしました。現状に満足して立ち留まったりせず、さらに工夫をしていくことや、失敗してもあきらめずもう一度チャレンジしたりするという事です。まずは、自分で決めたことを頑張ってください。そして、うまくいかないなと思ったら柔軟に修正して、またチャレンジしてください。そして、どんどん成長していくような、そんな年になってほしいと願っています。



◆◆トライアングルを超えて◆◆

1 年生代表生徒

3 学期に頑張りたいことは二つあります。一つ目は体育祭です。2 学期には秋華祭がありましたが、リーダーが決まらなかったり、仕事をリーダーに指示されるまでやらないなどの積極性に欠ける場面がありました。僕もリーダーに任せてしまっている場面もありました。秋華祭も体育祭も全員で楽しむものなので、体育祭の準備の時から積極的に全員で参加していけるように心がけたいです。二つ目は総合の探究学習です。2 学期には2 年生に向けてこれまでの探究で分かったことを発表しましたが、3 学期ではインタビュー活動に協力してくださった企業の方や保護者、ノホロの丘小学校の6 年生に向けて発表します。2 学期の発表の反省は、どのように発表するか、誰から発表するのかなどの確認や発表準備を総合の準備時間内に終えることができなかったグループが多く、直前になって確認しているグループが多かったことです。直前に確認となると焦りなどもあり、うまくいかないことが予想され、良い発表とは言えないものになってしまうかもしれないので、時間の管理を意識して個人の時間も使いながら準備に取り組みたいです。1 年生の学年目標は「トライアングル」です。1 学期から取り組んでいる朝の議題の時間では、学年目標に向かってよりよい学級をつくることを意識しています。3 学期はこれまでのまとめの時期なので、より一層よいものにして学年のレベルアップを目指して取り組んでいきたいです。



◆◆2 学期の反省と、3 学期、および来年度に向けて◆◆

2 年生代表生徒

僕は2 学期、多面的・多角的に考えることを頑張りました。秋華祭では、展示の活動で物事を論理的にとらえて探究することができました。自分の身の回りの事例の分析をしたり、小さな実験を繰り返したりしました。また、総合の日のインタビューでは、自分の欠点である集中しすぎる点、複数の課題をこなせない点の改善を目指し、探究活動を進めました。相手の意見を自分事としてとらえることで、実際に自分の生活に生かすことができました。多くのデータを取ることで、自分の欲しい特殊な情報を多く得ることができました。係活動では、出された意見をそのまま決めるのではなく、「本当に実現可能か」「継続できるか」「効果はあるか」など、批判的に捉え、より良い話し合いを目指すことができました。3 学期は、2 学期に身に付けた見方、考え方を使い、広い視野をもって行動していきたいと思っています。来年度からチーム担任制が始まるので、自分たちで生活の仕方を考えなければいけないと思います。そのために、「みんなが主体の学年づくり、学校づくりを考えるプロジェクト」に参加します。係活動では、自分たちの仕事を過大評価しがちなので、自分たちの仕事を批判的に捉えることが必要だと考えています。この活動を通して、普段の生活に疑問をもち、よりよい生活をしていきたいと思っています。来年度からは最高学年になるので、学校全体のことを客観的に考え、活動していきたいです。理科や総合の探究で学んだ見方・考え方をいかし、普段の生活のあたりまえを批判的に捉え、主体的に行動していこうと思います。でも、自分が考えて行動するだけでは、できることは限られているし、僕だけではなく学年でも同じ事を考えている人はいると思うので、生徒全員で考え、改善していけたら良いと思います。今の学校の状態として、自分の意見を表に出さない・出しにくいというところがあるので、まずは自分の考えを身近な誰かと共有することが大切だと思います。



◆◆2 学期の反省と3 学期の抱負◆◆

3 年生代表生徒

私の2 学期の反省は二つあります。一つ目は生活習慣の乱れです。私は2 学期では就寝時間が遅くなり、普段よりも短い時間しか眠ることができず、それに伴って朝の支度の時間が少なくなっていました。また、朝食をしっかりと摂れなかった日もありました。だから、3 学期からは、就寝時間を早めて、より質のよい睡眠をとり、一日のサイクルを規則正しいものにしたいと思っています。二つ目は、勉強量の少なさです。テスト前以外ではあまり勉強をしていなく、受験生なのに大丈夫なのかと、自分自身が心配になりました。2 学期には学力テストが3 回ありました。一生懸命勉強しましたが、残念ながら目標点には届きませんでした。学力テストA・B・Cが全て終わると、先生が、「入試は学力テストの何倍も難しいよ」とおっしゃいました。確かに学力テストよりも、授業の時に解いた入試の過去問の方が難易度が高かったです。だから、学力テストも練習のうちなのだと、考えを改めました。生活習慣、勉強量、この二つを改善するために、3 学期は、朝早く起きて、余裕をもって、三食をしっかり食べ、勉強することを目標にし、頑張ろうと思います。

